

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年5月28日
【四半期会計期間】	第59期第1四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）
【会社名】	株式会社守谷商会
【英訳名】	MORIYA CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 伊藤 隆三
【本店の所在の場所】	長野県長野市南千歳町878番地
【電話番号】	026(226)0111(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役常務執行役員 管理本部長 町田 充徳
【最寄りの連絡場所】	長野県長野市南千歳町878番地
【電話番号】	026(226)0111(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役常務執行役員 管理本部長 町田 充徳
【縦覧に供する場所】	株式会社守谷商会 東京支店 (東京都渋谷区渋谷三丁目7番1号ヒラゼンビル) 株式会社大阪証券取引所 (大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

## 1【四半期報告書の訂正報告書の訂正理由】

当社は不適切な会計処理が行われていた可能性があることが判明したため、速やかに法律・会計分野の専門家を交えた内部調査委員会を設置し、過去の会計処理の内容およびその根拠となる取引の状況等につき、徹底した調査を進めてまいりました。

内部調査委員会による調査の結果、平成24年3月期に計上すべき工事原価が、平成25年度の工事原価に付け替えられていることが確認されました。

これを受けて、当社は平成24年8月3日に提出した第59期第1四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）に係る四半期報告書の記載事項の一部を訂正する必要性が生じたため、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表については有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表に係る訂正箇所については、XBRLの訂正も行いましたので、併せて訂正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

## 2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_を付して表示しております。

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第58期 第1四半期連結 累計期間	第59期 第1四半期連結 累計期間	第58期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(千円)	6,100,963	4,832,977	30,264,780
経常利益又は経常損失( ) (千円)	85,799	213,291	<u>570,794</u>
四半期純損失( )又は当期純利益 (千円)	181,581	172,465	<u>161,530</u>
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	189,341	191,373	<u>168,839</u>
純資産額(千円)	6,138,359	<u>6,250,397</u>	<u>6,496,541</u>
総資産額(千円)	18,029,725	<u>16,996,707</u>	<u>19,434,594</u>
1株当たり四半期純損失金額( )又 は1株当たり当期純利益金額(円)	16.58	15.74	<u>14.75</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	34.0	<u>36.8</u>	<u>33.4</u>

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載して  
おりません。

2. 売上高には、消費税等(消費税及び地方消費税をいう。以下同じ。)は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第58期第1四半期連結累計期間及び第59期  
第1四半期連結累計期間において1株当たり四半期純損失であり、また、上表の各第1四半期連結累計期間及  
び連結会計年度において潜在株式が存在しないため記載していません。

(訂正後)

回次	第58期 第1四半期連結 累計期間	第59期 第1四半期連結 累計期間	第58期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(千円)	6,100,963	4,832,977	30,264,780
経常利益又は経常損失( ) (千円)	85,799	213,291	474,574
四半期純損失( )又は当期純利益 (千円)	181,581	172,465	99,353
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	189,341	191,373	106,662
純資産額(千円)	6,138,359	6,188,220	6,434,363
総資産額(千円)	18,029,725	17,030,749	19,473,447
1株当たり四半期純損失金額( )又 は1株当たり当期純利益金額(円)	16.58	15.74	9.07
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	34.0	36.3	33.0

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等(消費税及び地方消費税をいう。以下同じ。)は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第58期第1四半期連結累計期間及び第59期第1四半期連結累計期間において1株当たり四半期純損失であり、また、上表の各第1四半期連結累計期間及び連結会計年度において潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 第4【経理の状況】

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	4,671,890	6,317,107
受取手形・完成工事未収入金等	6,628,582	2,765,860
販売用不動産	220,250	220,250
未成工事支出金	684,505	676,435
その他	<u>652,597</u>	513,823
貸倒引当金	3,580	3,505
流動資産合計	<u>12,854,246</u>	<u>10,489,970</u>
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,637,581	2,637,581
その他	1,616,204	1,598,533
有形固定資産合計	<u>4,253,785</u>	<u>4,236,114</u>
無形固定資産	35,168	34,502
投資その他の資産		
その他	<u>2,812,252</u>	<u>2,756,837</u>
貸倒引当金	520,859	520,718
投資その他の資産合計	<u>2,291,393</u>	<u>2,236,119</u>
固定資産合計	<u>6,580,347</u>	<u>6,506,736</u>
資産合計	<u>19,434,594</u>	<u>16,996,707</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形・工事未払金	8,125,730	6,026,374
短期借入金	904,320	904,320
未払法人税等	24,842	9,841
未成工事受入金	1,297,618	1,328,520
賞与引当金	68,361	20,454
完成工事補償引当金	36,747	38,792
その他	379,139	341,920
流動負債合計	10,836,760	8,670,223
<b>固定負債</b>		
長期借入金	12,360	11,280
退職給付引当金	706,316	712,742
入会保証預り金	964,186	939,486
その他	418,430	412,576
固定負債合計	2,101,292	2,076,085
負債合計	12,938,052	10,746,309
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,712,500	1,712,500
資本剰余金	1,341,130	1,341,130
利益剰余金	3,520,788	3,293,552
自己株式	43,855	43,855
株主資本合計	6,530,563	6,303,327
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	34,022	52,929
その他の包括利益累計額合計	34,022	52,929
純資産合計	6,496,541	6,250,397
負債純資産合計	19,434,594	16,996,707

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	4,671,890	6,317,107
受取手形・完成工事未収入金等	6,628,582	2,765,860
販売用不動産	220,250	220,250
未成工事支出金	684,505	676,435
その他	657,408	513,823
貸倒引当金	3,580	3,505
流動資産合計	12,859,057	10,489,970
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,637,581	2,637,581
その他	1,616,204	1,598,533
有形固定資産合計	4,253,785	4,236,114
無形固定資産	35,168	34,502
投資その他の資産		
その他	2,846,295	2,790,880
貸倒引当金	520,859	520,718
投資その他の資産合計	2,325,435	2,270,161
固定資産合計	6,614,390	6,540,779
資産合計	19,473,447	17,030,749
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	8,226,761	6,127,405
短期借入金	904,320	904,320
未払法人税等	24,842	9,841
未成工事受入金	1,297,618	1,328,520
賞与引当金	68,361	20,454
完成工事補償引当金	36,747	38,792
その他	379,139	337,109
流動負債合計	10,937,791	8,766,443
固定負債		
長期借入金	12,360	11,280
退職給付引当金	706,316	712,742
入会保証預り金	964,186	939,486
その他	418,430	412,576
固定負債合計	2,101,292	2,076,085
負債合計	13,039,083	10,842,529



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,712,500	1,712,500
資本剰余金	1,341,130	1,341,130
利益剰余金	3,458,611	3,231,375
自己株式	43,855	43,855
株主資本合計	6,468,385	6,241,150
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,022	52,929
その他の包括利益累計額合計	34,022	52,929
純資産合計	6,434,363	6,188,220
負債純資産合計	19,473,447	17,030,749

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年5月27日

株式会社守谷商会  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 杉田昌則 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小松 聡 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社守谷商会の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社守谷商会及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成24年8月2日に四半期レビュー報告書を提出した。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。